

2014年3月期
(2013年4月1日～2014年3月31日)

決算参考資料

2014年5月12日



東証・名証1部上場 コード:9900
設立:1970年3月
資本金:63億352万円



目次

1. 連結対象企業の事業内容	_____	P2
2. 店舗展開の状況	_____	P4
3. 2014年3月期の業績概況	_____	P6
4. 財政・キャッシュフローの概況	_____	P6
5. 2014年3月期の業績・取組みについて	_____	P7
6. 2015年3月期・2016年3月期の業績予想	_____	P8

1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は9社であります。

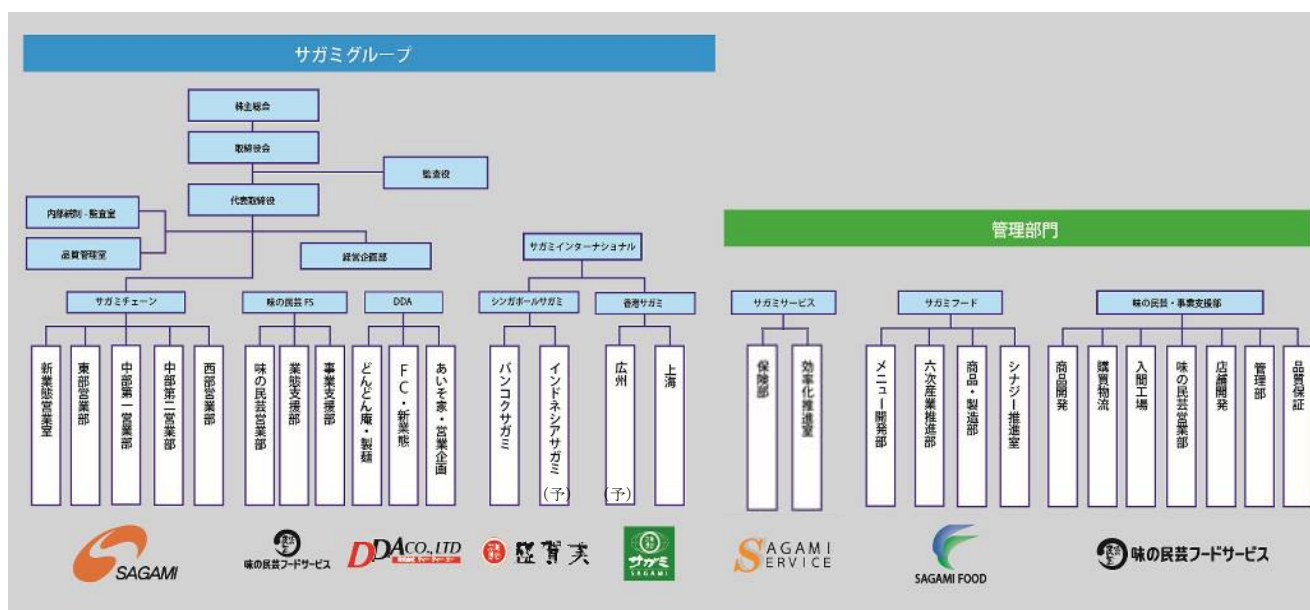
[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金	事業の内容
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	50,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000,000円	保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	食材の仕入・製造業務 飲食店の経営 輸出入業務
上海盛賀美餐飲有限公司	中国上海市	260,000,000円	飲食店の経営
HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.	Hong Kong	10,000,000香港ドル	海外事業(東アジア)の統轄 飲食店の経営
SINGAPORE SAGAMI PTE.,LTD.	Singapore	1,000,000米ドル	海外事業(ASEAN)の統轄 飲食店の経営
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	投資事業

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

HONG KONG SAGAMI CO.,LTD. ----2012年10月22日
(旧 SAGAMI INTERNATIONAL CO.,LTD.)
SINGAPORE SAGAMI PTE.,LTD. ----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD. ----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社 ----2014年04月01日

○ サガミグループ組織図



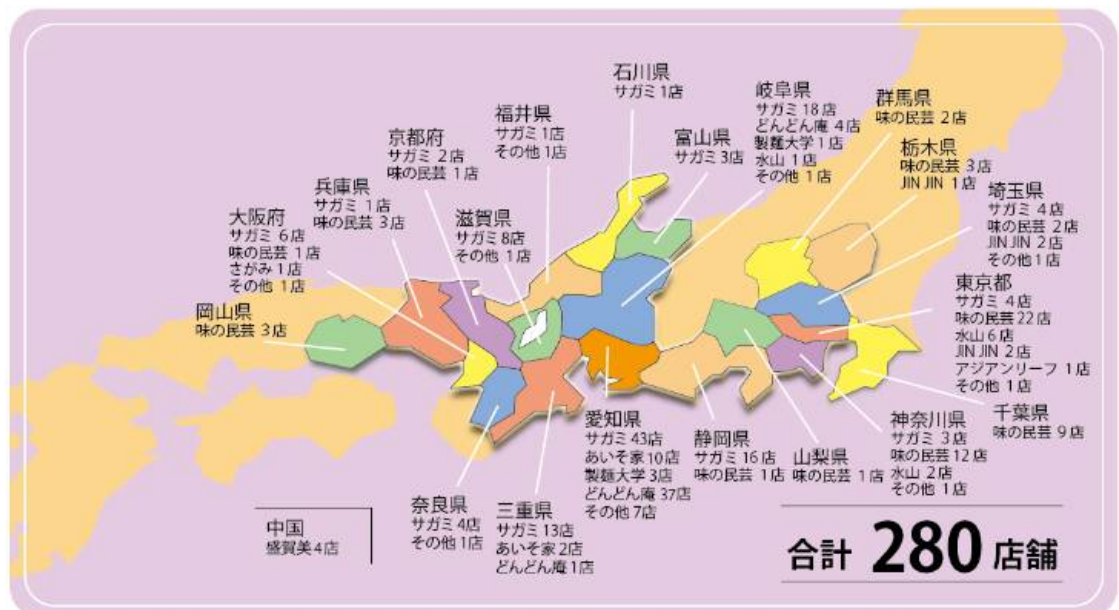
○ グループ会社について

- ◆ 株式会社サガミチェーンは、主に和食麺処サガミ業態、サガミ村業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、2014年1月7日に日清食品ホールディングス株式会社より株式を取得しグループ化いたしました。2014年3月期末で発行株式全てを取得し100%子会社となりました。主に味の民芸業態、水山業態を経営しております。味の民芸フードサービスは社歴も長く、関東地域を中心に知名度もあり、中部地域を中心に展開しているサガミチェーンとグループ化することで、地域的な補完と食材の共有によるシナジーが期待できます。
- ◆ 株式会社ディー・ディー・エーは、主にどんどん庵業態、あいそ家業態、製麺大学業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミサービスは、主に保険業務、効率化推進を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフード(旧株式会社エー・エス・サガミ)は、主にメニュー開発、食材の仕入・製造、六次産業推進を行っております。
- ◆ HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.(旧 SAGAMI INTERNATIONAL CO.,LTD.)は、主に東アジア地域での事業の統轄を行います。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.,LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、2014年4月に海外での事業展開の統轄会社として新設いたしました。

2. 店舗展開の状況

	2013年 3月期	2014年 3月期			2015年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	127	—	—	127	4	—	131
どんどん庵 (まるど食堂含む)	47	—	4	43	6	8	41
あいそ家	12	1	1	12	1	—	13
製麺大学	4	—	—	4	—	—	4
盛賀美	3	—	—	3	—	1	2
サガミ村	—	2	—	2	1	1	2
味の民芸 (FC5店舗含む)				60	—	3	57
水山 (FC1店舗含む)				9	1	3	7
JIN JIN				5	—	2	3
和食めん処さがみ				1	1	—	2
味の民芸その他業態				2	—	1	1
上海盛賀美	4	—	—	4	1	—	5
その他 国内	10	—	2	8	2	1	9
その他 海外	—	—	—	0	6	—	6
合計	207	3	7	280	23	20	283

* 業態毎の詳細は專頁に記載しております。



* 2014年3月31日現在

○ 業態毎の店舗展開について

- ◆ 2014年3月期に和食麵処サガミ業態の店舗数の増減はありません。2014年4月3日に「和風ビュッフェもんぺとくわ」を業態転換し、新モデルの「和食麵処サガミ 江南店」としてオープンいたしました。既存の和食麵処サガミには無いドリンクバーやサラダバーを設置しております。
- ◆ どんどん庵業態は、長喜店・葵町店・小古曾店を閉店し、「どんどん庵 星見が丘店」を「あいそ家Kitchen 大山田店」に業態転換いたしました。これにより、2014年3月期末の店舗数は、FC店29店舗・直営14店舗の合計43店舗となりました。
- ◆ あいそ家業態では、「あいそ家Kitchen 大山田店」を出店し、「あいそ家 平子橋食堂」を閉店いたしました。
- ◆ サガミ村は、ショッピングセンターのフードコート業態として2013年4月にバロー大津店に初出店し、その後同年9月にイオンタウン名西に出店いたしました。
- ◆ 2014年1月7日に味の民芸フードサービス株式会社をグループ化いたしました。それによりグループ店舗数は77店舗（2014年3月期末）増加いたしました。前頁の味の民芸フードサービス株式会社の店舗数は2014年3月期末の数値であります。

味の民芸	主にロードサイド店舗	和食・手延べうどん
水山	ビルテナント・ショッピングセンター業態	味の民芸の小型業態
JIN JIN		パスタ業態
- ◆ 2014年4月3日（ソフトオープンは同年3月28日）に、味の民芸の低採算店舗であった「味の民芸 大阪大東店」を業態転換し、「和食めん処 さがみ大東店」としてオープンいたしました。
- ◆ その他国内店舗では、フランチャイジーとして営業しておりました「かつや豊川店」と「かつや日進店」の営業権を譲渡いたしました。2014年3月期末のその他国内8店舗は、「さがみ庭 御器所店」、「新城PA 陣屋サガミ」「もんぺとくわ江南店」（2014年4月3日に和食麵処サガミに業態転換）、フランチャイジーとして営業しておりますラーメン店「丸源ラーメン」3店舗、たい焼き「たい夢」2店舗であります。
- ◆ 2014年4月25日（ソフトオープン同年4月8日）に、タイのショッピングモールCentral Plaza-Rama 3に「サガミ SAGAMI」をオープンいたしました。当初の売上想定を大幅に上回る推移であります。
- ◆ 2014年5月末に、インドネシアのショッピングモールPlaza Senayanに「SAGAMI」の出店を計画しております。
- ◆ 2015年3月期のその他国内出店計画の2店舗は、4月25日にイオンモール各務原に出店した「さがみ庭」（レストラン街業態1号店）と、既に出店が決まっているイオンモール名古屋茶屋の「さがみ庭」であります。閉店計画の1店舗は、「和食麵処 サガミ江南店」に業態転換した「もんぺとくわ」であります。
- ◆ 2015年3月期のその他海外6店舗は、中国広州、タイ2店舗（内1店舗は4月25日に出店済み）、シンガポール、インドネシア、ベトナムでの出店を計画しております。但し、海外では流動的な面が多く、出店が翌年にずれ込む可能性もあります。

以上により、2014年3月期末のサガミグループ店舗数は280店舗であります。

|| 3. 2014年3月期の業績概況

○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2013年 3月期	当初計画 2013年5月13日発表	2014年 3月期	当初計画 差異
売上高	22,599	19,400	19,521	121
営業利益	656	635	529	△106
経常利益	672	650	575	△75
当期純利益	447	465	595	130
一株あたり 当期純利益	18.27	18.62	23.85	5.23

○ 単体ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2013年 3月期	当初計画 2013年5月13日発表	2014年 3月期	当初計画 差異
売上高	17,966	16,000	16,058	58
経常利益	624	610	553	△57
当期純利益	470	440	506	66
一株あたり 当期純利益	19.24	17.62	20.29	2.65

*当初計画とは、年初(2013年5月13日)に発表した通期計画です。

|| 4. 財政・キャッシュフローの概況

○ 連結財政状態

単位 (百万円/%/円)	2013年 3月期	2014年 3月期
総資産	15,237	18,354
純資産	10,405	10,952
自己資本比率	68.2	59.6
一株あたり 純資産	416.18	438.36

○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2013年 3月期	2014年 3月期
営業活動によるキャッシュフロー	281	1,188
投資活動によるキャッシュフロー	△301	△824
財務活動によるキャッシュフロー	92	△164
現金及び現金同等物 期末残高	3,118	3,413

- 設備投資について
連結設備投資は347百万円(2013年3月期実績549百万円)となりました。
- 減価償却費について
減価償却費は366百万円(2013年3月実績449百万円)となりました。

5. 2014年3月期の業績・取組みについて

○ 2014年3月期の業績について

- ◆ 2014年3月期の業績につきましては、決算期変更(前期は2012年1月21日～2013年3月31日の14ヶ月11日間)に伴い利益面での前年比較が困難ではありますが、主力業態である和食麵処サガミの既存店の売上前年比は103.1%、客数前年比は105.5%と好調な推移でありました。
- ◆ サガミチェーン単体につきましては、売上は前年を上回ったものの、原材料および水光熱費の高騰などにより、営業利益面では通期計画を下回る結果となりました。
- ◆ 繰延税金資産の計上により、当期純利益は通期計画を上回りました。
- ◆ 2014年1月にグループ化した味の民芸フードサービスの、全業態既存店の売上前年比は103.7%、客数前年比は102.3%であり、また、主力業態である味の民芸の既存店の売上前年比も103.0%、客数前年比も101.3%と回復基調にあります。

*前年比は4月1日～3月31日の期間での対比です。

○ 2014年3月期の主な取組みについて

- ◆ 主力業態の和食麵処サガミでは、2013年7月25日～10月15日(好評につき期間延長)の期間で、「ざるそば祭り」を実施いたしました。夏の主力商品である『天ざるそば』を、そば食べ放題にしてお値打ち価格でご提供した商品です。CM・チラシ折込の効果もあり、若年層のお客様の利用も非常に増えました。夏休み期間中に長期企画を実施することは上場以来初めての事であり、客数増に大きく貢献した企画となりました。
- ◆ 2013年1月に「梅森坂店」で実験的に実施したモーニング営業およびモーニングメニューの販売を、2013年4月より中部圏を中心に実施店舗数を拡大しております。メニューは、コーヒー(紅茶・ソフトドリンク)とパン、サラダ、ゆで卵が付いて、税込299円(2014年4月より価格変更)と非常に安価にご提供しております。コーヒーはもとより、パン・卵にも拘り、利益を求めずお客様の層を広げる目的で実施いたしました。当初予測を上回るご支持を戴き、殆どの店舗で利益計上できております。
- ◆ 2014年3月期上半期は、次の柱を育てるべく、ショッピングセンター内への出店にチャレンジいたしました。イオンタウン名西店内の「サガミ村」2号店は、当初の売上予測を大幅に上回る推移であります。



朝7:00～11:00のモーニングメニュー



ショッピングセンターのフードコートに出店した「サガミ村」



『ざるそば祭り』の折込チラシ

6. 2015年3月期・2016年3月期の業績予想

○ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	19,521	24,700	26,300
営業利益	529	580	730
経常利益	575	625	780
当期純利益	595	385	510

○ 単体ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	16,058	16,500	16,900
営業利益	514	550	640
経常利益	553	585	670
当期純利益	506	375	420

*詳細につきましては、同時発表致しました「中期経営計画」をご参照下さい。

○ 2015年3月期について

- ◆ 連結ベースの業績予想の売上増加は、味の民芸フードサービスのグループ化によるものです。味の民芸につきましては、早期に黒字化を達成すべく、本部・工場部門の統合、グループ間シナジーの推進など、スピードをもって行ってまいります。
- ◆ 米国経済の回復基調と政府の経済政策などの効果もあり、日本経済に景気回復の兆しは見えるものの、消費税率引き上げによる影響、原材料及びエネルギーコストの上昇が予測され、経営環境は依然として厳しい状況が予測されます。
- ◆ 店舗展開につきましては、業態転換を含み23店舗の出店と、20店舗の閉店を計画しております。主力業態である和食麺処サガミでは、2013年3月期に全店店舗段階利益で黒字化いたしました。グループ化した味の民芸フードサービスの「味の民芸」業態および他業態の一部店舗では店舗段階で赤字の店舗もありますので、早期の業態転換・閉店を計画しております。
- ◆ 関東地域は今後も人口の増加が予測されており、また、ASEAN地域は著しい経済発展をしている上、『和食』の人気の高い地域であります。両地域は中部地域同様に最重要地域と位置付け今後も注力していきます。
- ◆ 2014年3月期は、店舗意識向上のため社内オーナー制度を3店舗に導入いたしました。導入3店舗全て大きく利益改善したことから、2015年3月期は社内オーナー制度対象店舗を13店舗に拡大いたします。
- ◆ 全社的改善提案制度を導入し、更にスピードを上げ改善改革に取り組みます。
- ◆ 前期に引き続き、お客様起点思考の視座を堅持しながら、店舗の改善を進めると共に、「科学的経営の推進」「コストの聖域なき見直し」「経営基盤の強化」を更に進めて参ります。また、テイクアウト・デリバリーも引き続き強化いたします。
- ◆ グループ会社となりました味の民芸フードサービスにつきまして、不採算および低採算店舗の対策、サガミチェーンとのシナジーなどにより2015年3月期での黒字化を見込んでおります。
- ◆ 2015年3月期は、1,200百万円の設備投資を計画しております。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

(1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕する」「企業を通じてお客様に奉仕する」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示電子情報システム(TDnet: Timely Disclosure Network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間前の一定期間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメント、IR活動を控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。